

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月8日

上場会社名 株式会社スガイ・エンタテインメント
 コード番号 4650 URL <http://www.sugai-e.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統轄部長 (氏名) 吉住 実
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 JQ

TEL 011-241-3951

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,339	—	△69	—	△97	—	△85	—
20年3月期第1四半期	1,616	△0.6	△42	—	△73	—	△74	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△19.92	—
20年3月期第1四半期	△17.45	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	11,029	3,811	34.6	889.81
20年3月期	11,034	3,892	35.3	908.69

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 3,811百万円 20年3月期 3,892百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	3.00	3.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	3,010	—	10	—	△70	—	△80	—	—
通期	6,150	△6.5	280	—	140	—	120	—	28.01

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ定性的情報・財務諸表等4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ定性的情報・財務諸表等4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 4,303,500株 20年3月期 4,303,500株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 20,048株 20年3月期 20,048株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 4,283,452株 20年3月期第1四半期 4,289,324株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月9日発表の通期業績予想を修正していません。上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知お願います。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国経済の減速懸念や原油価格の高騰、原材料価格の上昇などから身近な商品の値上がりが消費者心理を冷え込ませました。

このような状況下のなか、当社では、帯広市に中型ゲーム店舗アミューズメントパーク帯広のオープン（平成20年4月）、及び不採算店舗の閉鎖、店舗運営コスト管理の徹底を図ることなどに努力してまいりました。しかしながら、前期から続いている売上減少傾向が改善せず、当第1四半期の売上高は13億39百万円（前年同期比17.2%減）、営業損失は69百万円（前年同期は営業損失42百万円）、経常損失は97百万円（前年同期は経常損失73百万円）、四半期純損失は85百万円（前年同期は四半期純損失74百万円）となりました。

第1四半期会計期間の部門別売上高は、下記のとおりであります。

区分	前第1四半期 自 平成19年 4月1日 至 平成19年6月30日		当第1四半期 自 平成20年 4月 1日 自 平成20年 6月30日		増減
	売上高	構成比	売上高	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
アミューズメント施設部門	1,376	85.1	1,140	85.2	△235
映画興行部門	215	13.4	175	13.1	△40
その他	24	1.5	23	1.7	△0
合計	1,616	100.0	1,339	100.0	△277

（アミューズメント施設部門）

アミューズメント施設部門につきましては、ゲーム部門においては、新機種導入などにより、やや明るいきざしがみられるものの、ガソリン価格高騰等の影響や家庭用ゲーム機ヒット等の影響などにより、売上の前期割れは回復するに至らず、ボウリング部門も全国的に低迷したことなどにより、11億40百万円（前年同期比17.1%減）になりました。

（映画興行部門）

映画興行部門につきましては、前期よりヒット作品が少なかったことなどにより、1億75百万円（同18.7%減）になりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期の総資産は110億29百万円となり、前期末に比べ4百万円減少しました。これは主に、アミューズメント機器等有形固定資産の増加（前期末比91百万円増）がありましたが、現金及び預金等流動資産の減少（同88百万円減）並びに投資その他の資産の減少（同7百万円減）があったことなどによるものであります。

負債については、72億18百万円となり、前期末に比べ76百万円増加しました。これは主に、未払金等流動負債の減少（同37百万円減）がありましたが、長期未払金等固定負債の増加（同1億13百万円増）があったことなどによるものであります。

純資産については、38億11百万円となり、前期末に比べ80百万円減少しました。これは主に、評価・換算差額等の増加（同17百万円増）がありましたが、株主資本の減少（同98百万円減）などによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べ89百万円減少し、9億30百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、28百万円になりました。これは主に、非資金費用である減価償却費が1億78百万円等ありましたが、税引前四半期純損失が1億13百万円及びその他負債の減少が68百万円等あったことなどによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は1億27百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1億49百万円あったことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は65百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が3億28百万円ありましたが、長期借入れによる収入が4億50百万円あったことなどによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績につきましては、売上は軟調に推移しておりますが、期初の想定内であり、諸経費の見直し等の効果により、営業利益・経常利益については、損失であるものの、ほぼ期初の予想どおり推移いたしました。所得の増加なき諸物価の高騰など、当社を取り巻く環境は依然厳しいものがありますが、攻めと守りの強弱をつけた設備投資、並びにスタッフ配置の見直しや組織改革などを実施し、収益の改善に努めます。現段階では平成20年5月9日付決算短信に記載の業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴うの変更

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

商品・貯蔵品

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、先入先出法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる損益への影響はありません。

3. リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する事業年度に係る四半期財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零（残価保証の取り決めがある場合には残価保証額）とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これにより、有形固定資産のその他が11,502千円、固定負債のその他が11,903千円増加しており、損益への影響は軽微であります。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	618,588	708,635
売掛金	54,214	86,642
有価証券	311,487	311,427
商品	14,436	12,709
貯蔵品	32,682	39,430
その他	148,315	109,060
貸倒引当金	△293	△30
流動資産合計	1,179,431	1,267,876
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,152,324	3,186,159
アミューズメント機器	918,512	796,685
土地	3,939,860	3,939,860
その他	224,191	221,082
有形固定資産合計	8,234,890	8,143,788
無形固定資産	8,955	9,103
投資その他の資産		
差入保証金	1,129,824	1,133,340
その他	476,883	480,399
投資その他の資産合計	1,606,707	1,613,739
固定資産合計	9,850,553	9,766,631
資産合計	11,029,985	11,034,507
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,373	100,071
1年内償還予定の社債	85,000	85,000
1年内返済予定の長期借入金	1,344,244	1,290,679
1年内返済予定の長期未払金	51,083	10,973
未払法人税等	5,056	7,807
賞与引当金	4,432	21,927
ポイント引当金	7,500	9,500
店舗閉鎖損失引当金	55,000	55,000
その他	333,102	419,319
流動負債合計	1,962,792	2,000,277

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
固定負債		
社債	105,000	137,500
長期借入金	4,445,369	4,377,756
長期末払金	122,350	48,118
退職給付引当金	142,731	139,656
その他	440,300	438,851
固定負債合計	5,255,751	5,141,882
負債合計	7,218,543	7,142,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,775	948,775
資本剰余金	1,128,995	1,128,995
利益剰余金	1,731,420	1,829,614
自己株式	△10,844	△10,844
株主資本合計	3,798,346	3,896,541
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,094	△4,193
評価・換算差額等合計	13,094	△4,193
純資産合計	3,811,441	3,892,347
負債純資産合計	11,029,985	11,034,507

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	1,339,143
売上原価	1,230,711
売上総利益	108,432
販売費及び一般管理費	
給料	51,743
賞与引当金繰入額	1,766
退職給付費用	1,429
租税公課	28,406
その他	94,456
販売費及び一般管理費合計	177,802
営業損失(△)	△69,369
営業外収益	
受取利息	1,767
受取配当金	805
アミューズメント機器売却益	6,106
その他	3,182
営業外収益合計	11,862
営業外費用	
支払利息	35,875
アミューズメント機器処分損	1,058
その他	2,807
営業外費用合計	39,741
経常損失(△)	△97,248
特別利益	
固定資産売却益	143
ポイント引当金戻入益	2,000
特別利益合計	2,143
特別損失	
固定資産除却損	80
投資有価証券評価損	18,595
特別損失合計	18,676
税引前四半期純損失(△)	△113,781
法人税、住民税及び事業税	2,685
法人税等調整額	△31,122
法人税等合計	△28,436
四半期純損失(△)	△85,344

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△113,781
減価償却費	178,738
貸倒引当金の増減額(△は減少)	263
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,495
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,075
受取利息及び受取配当金	△2,573
支払利息	35,901
有形固定資産除却損	558
有形固定資産売却益	△6,250
有形固定資産売却損	580
投資有価証券評価損益(△は益)	18,595
売上債権の増減額(△は増加)	32,427
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,021
その他の資産の増減額(△は増加)	△4,700
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,698
未払消費税等の増減額(△は減少)	△25,276
その他の負債の増減額(△は減少)	△68,151
小計	12,236
利息及び配当金の受取額	1,334
利息の支払額	△39,311
法人税等の支払額	△2,673
営業活動によるキャッシュ・フロー	△28,413
投資活動によるキャッシュ・フロー	
貸付けによる支出	△2,100
長期貸付金の回収による収入	7,579
投資有価証券の取得による支出	△1,832
有形固定資産の取得による支出	△149,053
有形固定資産の売却による収入	14,579
差入保証金の差入による支出	△13,711
差入保証金の回収による収入	17,227
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,312
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	450,000
長期借入金の返済による支出	△328,822
社債の償還による支出	△32,500
長期未払金の返済による支出	△10,701
配当金の支払額	△12,238
財務活動によるキャッシュ・フロー	65,738
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△89,987
現金及び現金同等物の期首残高	1,020,062
現金及び現金同等物の四半期末残高	930,075

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年4月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	1,616,341
II 売上原価	1,455,961
売上総利益	160,379
III 販売費及び一般管理費	202,677
営業利益	△42,298
IV 営業外収益	8,386
V 営業外費用	39,738
経常利益	△73,650
VI 特別利益	—
VII 特別損失	5,545
税引前四半期純利益	△79,195
税金費用	△4,326
四半期純利益	△74,869